

みんなで育てよう 大仁の子

道徳だより

第1号
H28.2.2
大仁中学校
大仁小学校
大仁北小学校

大仁小学校、大仁北小学校、大仁中学校の3校は、平成27・28年度道徳教育推進校として文部科学省から研究指定を受けました。道徳教育の目標は「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと」です。

それぞれの学校で、道徳の授業及び学校の教育活動全体を通して、どのように道徳性を養っていくか研究を進めています。

そこで、道徳性を養う第一歩として、「あいさつ」を交わすことに取り組みたいと考えました。これは学校文化であると共に、地域の文化でもあります。家庭、地域で「おはようございます」「こんにちは」と声を掛け合うことができれば、地域の温かな人間関係が築かれ、子どもたちも自ずと心が豊かになっていくと考えます。

また、家庭での親子、家族のふれあいは、子どもたちの心の成長にとって何者にも代え難いものです。そこで、大仁中学校区3校で「ノーテレビデー」を月1回第二火曜日に設け、その日はテレビを消して、家族で楽しく過ごす時間をつくってもらうことにしました。

学校、家庭、地域が協力して、子どもたちの道徳性を養っていきたいと考えます。どうか、ご支援、ご協力をお願いいたします。

大仁小学校長 荻島美智子、大仁北小学校長 勝又昭洋、大仁中学校長 相馬美樹子

各小中学校の取組

＜大仁北小学校＞

子ども自身がねらいとする価値を自分の問題として受け止め、よりよい生き方についての考えを深めることができるような授業をめざして、授業改善に取り組んできました。

【多様な考えに会う発問の工夫】

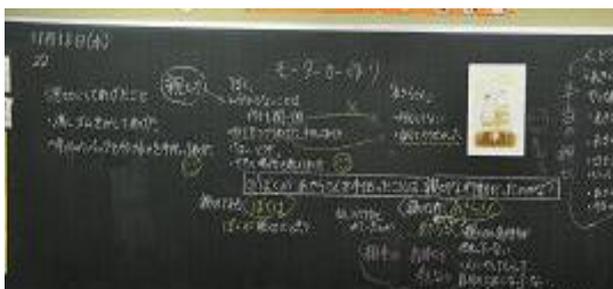


ぼくがあきらさんを手伝ったことは、
親切な行動だったのかな？

かなえさんがきっぱり言ったことはい
いことなの？ どうしてかな？

「私」はなぜ頂上をめざさなかったの
でしょうか。

1時間1時間の道徳の授業を大切に



【考えを整理するための板書】



【自分見つめる時間】

<大仁小学校>

主題名を精選して設定し、授業の導入にアンケートを活用したりペアやグループで話し合いをしたりして、子どもたちが道徳的価値を自分のこととして考えられるようにしています。

絵本を資料にした授業

低学年「てとてとてとて」

内容項目 親切 思いやり
主題名 「気持ちを手にのせて」



ペアで動作化

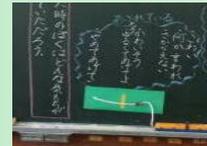
終末場面で
みんなで歌を



揺れ動く主人公の心情を 教具で可視化した授業

中学年「どうしたらいいんだろう」

内容項目 善悪の判断 自律 自由と責任
主題名 「なんとかしなきゃ」



主人公の揺れ
る気持ちを綱
引きで表現



ペアで
話し合う

修学旅行を3週間後に控え ての授業

高学年「修学旅行の夜」

内容項目 善悪の判断 自律 自由と責任
主題名 「自由の中のルール」



グループで深め合う

自分の考えを書く

価値をとらえる



<大仁中学校>

本校の課題である「自己肯定感の向上」に向けて、授業と教育活動をつないでいます。

授業改善

地域連携



大学教授による示範授業



校内研修(事後研修会)



人権作文の読み聞かせ



福祉カレンダー寄贈



小中合同研修会



研究授業(いじめについて)



夏祭りのボランティア



パン祖のパン祭ボランティア

◇自己肯定感に関するアンケート結果◇

- Q あなたは仲間や学級において必要とされる存在ですか。 H26 → H27
 Q あなたは自分に良いところがあると思いますか。 2.82→2.84
 Q 道徳の授業に意欲的に取り組んでいますか。 2.94→3.05
 Q 道徳の授業に意欲的に取り組んでいますか。 1年:94%、2年:91%、3年:98%

本年度は、豊かな情操と思いやりの心を持ち、集団や社会の一員として、自ら考え、判断し、行動できる場面が少しずつ増えてきました。